

教育研究ジャーナル
Journal of Educational Studies

Vol.8 No.2 2015

文教大学大学院 教育学研究科

文教大学大学院 教育学研究科

Journal of Educational Studies

Vol.8 No.2 2015

目 次

巻 頭 言 (葉養 正明) 1

投稿論文

デジタル・ネイティブ世代の特徴と

アクティブ・ラーニングとの整合性に関する一考察..... 5

文教大学大学院 教育学研究科 修了生

現 東京学芸大こども未来研究所 常勤研究員 村山 大樹

文教大学大学院 教育学研究科 教授 今田 晃一

Consideration of Consistency between Characteristics of Digital Native Generation and Active Learning

文教大学附属小学校における6年生送る会の取り組みと意義..... 9

文教大学大学院教育学研究科 修了生

現 文教大学附属小学校 非常勤講師 岡部 昌代

Approach and Significance in Rokunensei Okurukai of the Bunkyo University Elementary School

豊かな表現力をはぐくむ音楽学習の指導

—創作活動と身体表現のかかわりに着目して—.....13

文教大学大学院 教育学研究科 院生 浦野 遥

文教大学大学院 教育学研究科 教授 島崎 篤子

Teaching for Music Learning to Cultivate the Ability of Expressiveness
Focus on the Relationship between Creative Music Making and Physical Expression

小学校低学年における動物飼育の理論と実践

—3人の児童のケースをまじえて—.....17

文教大学大学院 教育学研究科 院生 日置 有樹奈

文教大学大学院 教育学研究科 教授 嶋野 道弘

埼玉県越谷市立荻島小学校 教諭 新原 秀典

Theory and Practice of Animal Breeding in Lower Grades of the Elementary School :

With the Case of Three Children

質的調査における新たな価値観を見出すための手法に関する一考察……………21
—フィリップ・ジャクソンの著書から—

文教大学大学院 教育学研究科 院生 大浦 直貴
文教大学大学院 教育学研究科 教授 高橋 克巳
文教大学大学院 教育学研究科 教授 手嶋 將博

A Consideration about the Method to Discover New Values in the Qualitative
Research : According to the “*Life in Classrooms*”, by Jackson. P. W

言語活動の充実とアクティブラーニングの接点……………25

文教大学大学院 教育学研究科 院生 佐藤 弘章
文教大学大学院 教育学研究科 准教授 山下 直

A Point of Agreement between Language Activities and Active Learning

批判的思考に基づくディベート教材の研究……………29

文教大学大学院 教育学研究科 院生 椎名 憲太郎
文教大学大学院 教育学研究科 教授 池田 進一
文教大学大学院 教育学研究科 准教授 山下 直

Research on Critical Thinking in Debate Materials

「アクティブ・ラーニング」を支える学習観……………33
—教育心理学からの検討—

文教大学大学院 教育学研究科 准教授 中本 敬子
文教大学大学院 教育学研究科 院生 小松崎 洋史

Views of Learning in “Active Learning” :
Discussion from a Educational Psychological Perspective

作品展示による教育効果の向上を企図する表現及び鑑賞の教育……………37
展示教育の意義

文教大学大学院 教育学研究科 教授 久保村 里正
文教大学 教育学部 専任講師 大久保 智睦

The “Production and Appreciation” Education which Aims at Improvement of the
Educational Effect by Art Exhibition : The Significance of the Exhibition Education

綴方における方言使用の是認……………41
—雑誌『児童の綴方』の場合—

文教大学大学院 教育学研究科 教授 太郎良 信

Approval of the Use of Dialect in Children’s Writing :
In the Case of the Monthly JIDOU NO TSUZURIKATA Magazine

国立民族学博物館と連携した教員研修ワークショップ……………45
～ものづくりとタブレット端末を用いた現地学習を中心として～

文教大学大学院 教育学研究科 教授 今田 晃一

立命館守山中学校 教諭 木村 慶太

奈良県葛城市立磐城小学校 教諭 山田 幸生

Teachers' Training Workshop in Cooperation with the National Museum of Ethnology :
Focus on Craftsmanship and On-Site Learning Using Tablet

大学院生の研究活動

2015年度 第八期生修士論文発表会 プログラム……………53

豊かな表現力をはぐくむ音楽学習の指導……………54
～創作活動と身体表現のかかわりに着目して～

文教大学大学院 教育学研究科 院生 浦野 遥

科学概念獲得のための協同による説明構築活動を取り入れた理科授業の開発……………56
～溶解現象と関連付けた粒子概念の指導を例に～

文教大学大学院 教育学研究科 院生 小松崎 洋史

小学校低学年における教室内動物飼育の教育的効果……………58
～愛着の形成と教育的効果の関係～

文教大学大学院 教育学研究科 院生 日置 有樹奈

編集後記(今田 晃一)